



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 仙波糖化工業株式会社
 コード番号 2916 URL <https://www.sembatohka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 光夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長兼 営業管理本部長 (氏名) 田中 明子 TEL 0285-82-2171
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,141	△0.4	316	△53.4	535	△24.9	458	△6.5
2022年3月期第3四半期	14,193	—	678	—	712	—	490	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 811百万円 (△0.4%) 2022年3月期第3四半期 814百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	40.26	—
2022年3月期第3四半期	43.05	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,152	11,944	47.8
2022年3月期	21,556	11,301	48.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,055百万円 2022年3月期 10,442百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	5.9	450	△39.6	620	△30.8	480	△11.1	42.17

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名） 、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	11,400,000株	2022年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,191株	2022年3月期	16,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,383,809株	2022年3月期3Q	11,383,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動が平常に戻りつつある一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー輸入価格や原材料価格の高騰、日銀の金融緩和政策の一部修正による大幅な為替相場の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、外食需要に持ち直しの動きが見られるものの、大幅な燃料価格や原材料価格の上昇、消費者の節約志向の高まりから経営環境の厳しさが増しております。

このような状況下、当社グループは、全社を挙げて顧客ニーズに合わせた新商材の開発強化や値上げ対応を進める一方で、海外市場開拓に注力してまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は141億41百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

製品の種類別売上高では、カaramel製品は、国内需要が回復基調に転じ、海外市場の取り込みも開始され、30億64百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。乾燥製品類は、粉末調味料が堅調で、44億36百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。組立製品類は、健康食品の受託加工が大幅に減少し、30億80百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。冷凍製品は、外食向け冷凍山芋の需要が回復し、冷凍和菓子が堅調に推移したことから、26億75百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。その他は、子会社の受託加工が増加し、8億85百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

利益面につきましては、ユーティリティークストの大幅上昇を主因に、営業利益は3億16百万円（前年同四半期比53.4%減）、経常利益は5億35百万円（前年同四半期比24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億58百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、121億40百万円（前連結会計年度末は107億87百万円）となり13億53百万円増加しました。その主なものは、受取手形及び売掛金の増加（9億94百万円）、その他の増加（2億51百万円）、現金及び預金の増加（1億73百万円）であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、110億12百万円（前連結会計年度末は107億68百万円）となり2億43百万円増加しました。その主なものは、投資有価証券の増加（2億11百万円）であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、85億52百万円（前連結会計年度末は74億12百万円）となり11億40百万円増加しました。その主なものは、短期借入金の増加（6億51百万円）、支払手形及び買掛金の増加（6億24百万円）であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、26億55百万円（前連結会計年度末は28億42百万円）となり1億86百万円減少しました。その主なものは、長期借入金の減少（2億53百万円）、退職給付に係る負債の増加（43百万円）、繰延税金負債の増加（29百万円）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、119億44百万円（前連結会計年度末は113億1百万円）となり6億42百万円増加しました。その主なものは、利益剰余金の増加（2億87百万円）、為替換算調整勘定の増加（1億76百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（1億46百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月11日の「第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により業績予想の修正が生じる場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,313,114	3,486,479
受取手形及び売掛金	3,867,439	4,861,459
電子記録債権	68,182	76,849
商品及び製品	1,806,997	1,813,490
仕掛品	776,565	693,896
原材料及び貯蔵品	787,226	789,586
その他	169,383	420,518
貸倒引当金	△1,290	△1,501
流動資産合計	10,787,618	12,140,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,592,475	4,752,589
機械装置及び運搬具（純額）	2,361,523	2,354,919
その他（純額）	769,986	752,619
有形固定資産合計	7,723,985	7,860,127
無形固定資産	762,608	788,923
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,828	1,852,639
繰延税金資産	527,257	408,253
その他	114,182	103,807
貸倒引当金	—	△1,672
投資その他の資産合計	2,282,268	2,363,028
固定資産合計	10,768,862	11,012,079
資産合計	21,556,481	23,152,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,291,206	2,916,148
短期借入金	3,687,543	4,339,452
未払法人税等	157,472	14,144
賞与引当金	342,474	176,711
役員賞与引当金	23,000	—
その他	910,816	1,106,191
流動負債合計	7,412,514	8,552,648
固定負債		
長期借入金	1,091,563	838,043
退職給付に係る負債	1,244,365	1,287,703
繰延税金負債	357,596	387,417
資産除去債務	49,510	49,003
その他	99,052	93,754
固定負債合計	2,842,089	2,655,923
負債合計	10,254,603	11,208,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	6,833,323	7,120,830
自己株式	△5,174	△5,174
株主資本合計	9,531,758	9,819,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	795,598	941,721
為替換算調整勘定	150,223	326,699
退職給付に係る調整累計額	△35,533	△31,788
その他の包括利益累計額合計	910,288	1,236,632
非支配株主持分	859,831	888,387
純資産合計	11,301,878	11,944,286
負債純資産合計	21,556,481	23,152,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,193,310	14,141,240
売上原価	11,039,974	11,357,570
売上総利益	3,153,335	2,783,670
販売費及び一般管理費	2,474,481	2,467,531
営業利益	678,854	316,138
営業外収益		
受取利息	8,802	8,310
受取配当金	30,888	31,957
為替差益	7,867	226,236
補助金収入	22,569	8,925
その他	52,980	16,503
営業外収益合計	123,108	291,934
営業外費用		
支払利息	52,526	51,432
その他	37,206	21,554
営業外費用合計	89,733	72,986
経常利益	712,229	535,086
税金等調整前四半期純利益	712,229	535,086
法人税、住民税及び事業税	169,729	112,509
法人税等調整額	39,111	44,222
法人税等合計	208,841	156,731
四半期純利益	503,388	378,354
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13,300	△79,909
親会社株主に帰属する四半期純利益	490,088	458,264

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	503,388	378,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,346	146,122
為替換算調整勘定	291,537	282,918
退職給付に係る調整額	3,870	3,745
その他の包括利益合計	310,754	432,786
四半期包括利益	814,142	811,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	727,925	783,264
非支配株主に係る四半期包括利益	86,217	27,876

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。